



しじて保存しまししょう

真夏のイベント“ふるさと祭り、 里帰り客らでにぎわう

恒例になった夏のイベント「ふるさと祭り」が、八月十四日河辺中学校グラウンドで開かれ、村みや里帰り客など約二千三百人余の人たちでにぎわいました。幸い天候にも恵まれ、午後四時から開かれた

「カラオケ大会」は、二十四名が予選を行い五名が決戦に残る方法を取り、プロ歌手の渚ゆう子さん、三田ゆかりさん、昨年のチャンピオン谷口俊恵さんが審査員になり、南海放送の小林真三さんが司会で盛り上げ、決戦に残った五名が歌唱力を競い合った結果、大洲市の山本三好さんが最優秀賞に輝きました。
「歌謡ショー」では、過去レコード大賞歌唱賞の実力者、

渚ゆう子さんと新人の三田ゆかりさんが出演し、観客とのデュエットもまじえながらプロの貫録で観客を魅了。

また、「盆おどり大会」は、久しぶりに「扇子おどり」の輪が復活しました。これは、七月に結成された「扇子おどり保存会」のメンバーを中心に音頭、太鼓をバックに踊りの披露がおこなわれ、その後、河辺音頭で大きな輪が広がりました。

ファイナルは、「花火大会」で飾り、夜空に火と音の芸術が描かれ山々にこだまして迫力満点でした。
カラオケ大会の入賞者は次のとおり

☆最優秀賞

山本三好さん (大洲市)

「男の履歴」

☆準優秀賞

片山広司さん (松山市)

「与作」

☆熱演賞

松永勝良さん (松山市)

「川」

福泉正子さん (内子町)

「冬から春へ」

東岡秀則さん (松山市)

「丸山花町母の街」

☆特別賞

石田ひろみさん (大洲市)

「男の一生」



さすがプロとうならせた渚ゆう子さんのショー

やねばし

今年オリンピックの年、時まさにスポーツの秋、スポーツに親しみ、体力の向上をはかることはいいことである。

当世の人は、昔の人と比べて筋力が落ちてきていると言われている。たしかに我々は、歩かない、動かない、仕事しないときは筋力の強くなるよしもない。

二〇年向こうのオリンピック記録の予測をしていた記事があった。一〇〇メートルで九秒六八まで伸びるだろう、又、筋力は一、四倍から二倍にアップするだろうと予測していた。記録を破るためあらゆるハイテクを使ったトレーニング法できたる筋力(運動の基本)は、人間の限界にせまることが出来るだろうが、我々一般人はなかなかそうはいかない。忙しさの中で一日があつという間に過ぎてしまい、とても筋力トレーニングなどの時間はない。故に我々の体力は機械文明の中で低下の一途をたどっていく。何とかしなければと思うのだが、スポーツの秋より「食欲の秋」が先に来て、腹のまわりが豊かになることしきりの昨今である。(福)

'88 10 月	
発行	河辺村公民館
☎ (0893) 39-2111	内線 26・27
佐川印刷 KK	吉田町北小路
☎ (0895) 52-0600	

人のうごき	
(昭和63年10月1日現在)	
世帯数	584 戸
男子	909 人
女子	887 人
計	1,796 人
S62.10.1~1,839(-43)	
S61.10.1~1,882(-86)	
S60.10.1~1,938(-142)	
S59.10.1~1,982(-186)	
S58.10.1~2,013(-217)	



年々レベルが高くなってきたカラオケ大会

九月定例議会おわる

議長に本山氏 副議長に森氏 選出

九月の定例村議会が二十日に開かれ、一般会計補正予算、国民健康保険事業勘定特別会計補正予算、国民健康保険施設勘定特別会計補正予算、

及び村道路路線の認定、監査委員の選任について、議案五件と議員提案の決議、意見書が上程審議されいづれも原案どおり可決されました。今回の一般質問は、大森・田中両議員によって行われました。また、正副議長の改選

が行われて、指名推せんの結果、新しく議長に本山清明氏、副議長に森 良樹氏が満場一致で選出されました。さらに、議会選出の監査委員として向井 猛氏が選任されました。

＜村議会の構成＞ 敬称略

議長 本山清明
副議長 森 良樹

※総務民教委員会

◎委員長 ○副委員長
◎中野光男 ○大森高知

佐伯範男 森 良樹
長岡吉男 田中五月

優良分館職員で受賞 植松分館長 富永順一氏

◎松尾 明 ○松尾一男
向井 猛 富永万作
本山清明

※河辺川ダム対策特別委員会

◎富永万作 ○佐伯範男
向井 猛 中野光男
松尾一男 長岡吉男

おしらせ

10月16日～22日 ●行政相談強
調週間

10月23日 ●県民体育祭管内大
会

10月27日～11月9日 ●読書週
間

10月30日 ●婦人会親子運動会

11月11日～12日 ●産業文化祭

11月20日 ●卓球、バドミント
ン大会

12月4日 ●健康マラソン大会

12月8日 ●県立図書館いよじ号
巡回

去る八月十八日、長浜町中央公民館で喜多郡公民館研究大会が開かれ、その席上、植松分館長の富永順一氏(49歳)が、今年度の優良分館職員として金橋郡公連会長から表彰されました。これは長年の分館活動を通じて各役職を歴任、その積極的な取り組みで成果が現われてきたことによるものです。今後とも、ますますのご活躍を期待いたします。おめでとうございました。

図書寄贈のお礼

このたび松山市在住の山ノ内教善氏から、日頃愛読されていた本「戦記物」など約一〇〇冊を公民館図書として、村民の皆さんに読んで欲しいと寄贈していただきました。ご芳志に対し厚くお礼を申し上げます。



議長 本山 清明

就任のごあいさつ

このたび、前議長富永万作氏が議長の職を辞任され、後任として不肖私が選任

いただき、九月二十日付けをもって村議会議長に就任いたしました。まことに身に余る光栄であり、また感激にたえない次第でございます

ます。もとより浅学非才でございます。歴代議長さんの優れた手腕と業績に思いをいたすときに、果たしてこの重責を全うし、村民の皆様方の負託にお応えし、ご期待にそうとができるかどうか、危惧いたしておりますが、この大任を果たすため、日々研鑽を怠らず、住民の福祉向上に対しては、行政と一体となって全精力を傾注いたす所存でございます。

時あたかも、オレンジ等・牛肉の輸入自由化が決定し、また、我国の主食であります米についても輸入自由化を迫られており、我国

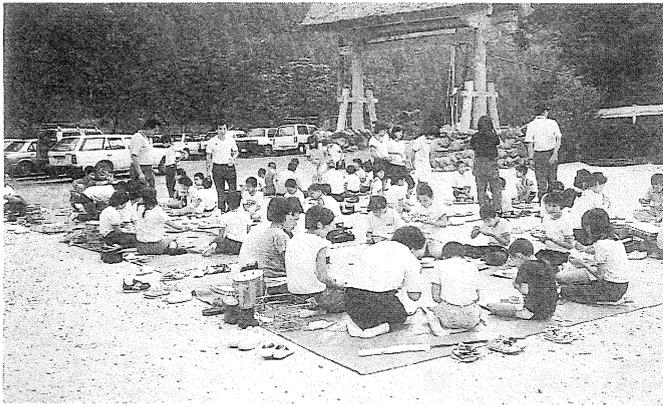
の農業の根幹が揺がされようといたしております。国内にあっては、急速な高齢化社会を迎えようとしており、二十一世紀へ向けての展望が急務とされております。このように内外共に厳しい諸情勢の中で、私共村議会は一丸となって、村政発展のため邁進いたさなければならぬと存じます。私は微力ではございますが、本村発展のために議員各位はもとより、村民の皆様は絶大なご支援とご協力をお願いし、最大の努力をいたすことを誓いいたします。議長就任のご挨拶いたします。



海の子 山の子が交流

長浜町の出海小、
 榎生小と本村の北
 平小、坂本小、河辺
 小の四年以上の児
 童たちが八月二日、
 三日の両日完成し
 たばかりの「ふる
 さとの宿」で第二
 回長浜町・河辺村
 小学生宿泊交流会
 (主催、長浜町・
 河辺村教育委員
 会)を開いた。
 海の子、山の子
 交流学習の一環
 で、お互いに助け

合い励まし合う体験的生活を
 させながら、お互いが理解し
 合い、仲間意識を深めること
 を目的としている。
 同日午後三時から開会式が
 行われ、真田教育長の歓迎の
 言葉に続いて、河辺小の富永
 光一児童会長が「海の子山の
 子仲良く助け合い、一つでも
 多くのことを体験し、交流を
 深めよう」とあいさつした。
 班会議、森林浴、飯ごう炊
 さん、展望大浴場で疲れをい
 やしたあと、花火大会。続け
 て火の神を迎えてのキャンプ
 ファイヤー等々、一日目はあつ
 というまに終わりました。



カヤぶき屋根の山門をバックにしたのしい会食

二日目は、子供た
 ちが楽しみにしてい
 た溪流釣り大会。ニ
 ジマス、アマゴ約1
 00匹を放流した河
 辺川に釣りザオを
 いっせいに垂れ、次々
 と釣り上げた。
 そのあと地元のお
 じいちゃん、おばあ
 ちゃんを囲んで河辺
 の民芸品(竹細工、
 お手玉、紙工作)を
 作りながら、昔の遊
 びや暮らしなどの話
 しもしていただき交

流を深めた。

最後に、交流・友情のしるしとして記念植樹をした。

参加者全員が、河辺の自然の中で多くの体験をし、交流・友情が深められ、すばらしい二日間であった。

河辺連合小学校のみなさんへ

みなさんお元気ですか。

交流会の時は、いろいろおせわになりました。みんないい思い出ができました。うれしく思います。キャンプファイヤーでは、みなさんとの友情の火が赤々と燃えその火の回りでしたゲームもとても楽しかったです。花火大会は、かわった花火や面白い花火がありました。二日目の魚つり大会では、つれる人つれない人いろいろありました。みんないっしょうけんめいしました。今年の交流会はとても楽しかったので来年もぜひ交流会が行われたらいいと思います。どうもおせわになりました。

榎生・出海小学生一同

植松分館が青年・壮年W優勝

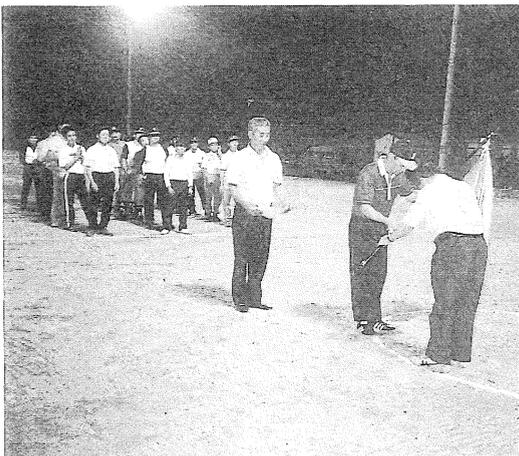
ナイターソフトリーグ戦

分館対抗のナイターソフト
 ボール大会が、七月十八日
 (三十一日)にかけ、中学校グ
 ラウンドで熱戦が繰りひろげら
 れました。

各分館から青年チーム(三
 十九歳以下)と壮年チーム(四
 十歳以上)の二チームを編成
 してのリーグ戦で、植松分館
 が青年・壮年チーム共に活躍
 めざましく好成績で優勝に輝
 きました。

◎ホームラン賞

- 植松分館 井脇龍也
- 大野清正
- 浦野友安 2号
- 北川智也



優勝旗を手にする植松分館チーム

成績表

壮年の部				青年の部			
順位	分館	勝	敗	順位	分館	勝	敗
1位	植松分館	2勝	0敗	1位	植松分館	2勝	0敗
2位	大伍分館	1勝	2敗	2位	坂本分館	2勝	1敗
3位	北平分館	2勝	1敗	3位	北平分館	1勝	2敗
4位	坂本分館	1勝	3敗	4位	大伍分館	0勝	3敗

- 坂本分館 菊地利一 2号
- 新田義和
- 小西寿司
- 河本 治
- 有馬新太郎 2号
- 山本俊一

ふるさと宿“オープン”

うるおいと活力をめざす

久しく待望しておりましたふるさと宿を七月二日にオープンすることができ、七月、八月は都会のお客様で連日満員の嬉しい悲鳴でした。

このふるさと宿は、村民に健全な保健休養の場を提供し、生活福祉の向上と健康の増進を図り、あわせて一般行楽者に供する施設ですが、ただの施設としてではなく、我が村の村づくりの拠点として村民にまた、河辺をふるさととして愛していただく方々に誇りにしていただける施設としていきたいと考えます。

拝啓

都会のみなさま、いかがおすごしですか？

勉強、お仕事、情報、騒音……。

毎日大変なことと思われま

す。
このたびわたくしたち“河辺村”ではそんな皆様との交流を願って“ふるさと宿”を開設いたしました。

四方を囲む美しい山々、清らかな川、美味しい空気、

森林浴……

“ふるさと宿”でストレスを解消し健康で豊かな人生を送っていただきたいと思えます。

こんな、お便りを都会の皆様にお送りしております。

現代は物や情報が氾濫する一方、人々は総ストレス時代、清らかな川、美しい山々、澄みきった空、どれも都会では味わえない貴重な財産です。

わたくしたちは、この様な貴重な財産を都会の人々に提供し、逆に、都会の人々からは新鮮な情報を得たいと考えています。

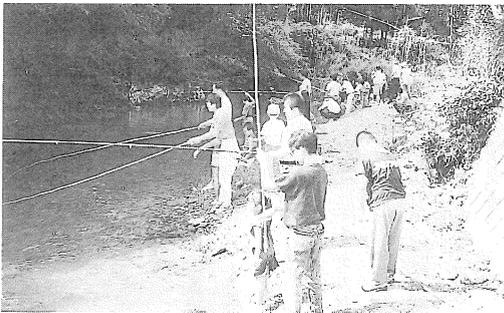
また、村民の皆様との交流も都会の皆様との交流以上に はかっていき、心豊かな河辺村を村民の皆様とともに築いていきたいと思えます。そのためにも、この“ふるさと宿”を中心としたイベントを今後も次々と企画していきま すので、皆さんがイベントの主役”になつてご参加いただきますようお願いいたします。



澄んだ歌声で場内を包みこんだ芹洋子さんと女生徒たち



河辺の将来を熱っぽく語ったシンポジウム



溪流つり大会で大物を狙った参加者



村外からも“のど自慢”がかけつけたカラオケ大会

名月ふるさとカラオケ大会を開催したところ、入場者一〇四名の内カラオケ出場者二〇名それぐが、すばらしい“のど”を披露していただきました。
村内には、まだ多くの愛好者がおられますので、次回は勇気を出して出場してみませんか。

敬老の日行事が 4会場で大盛況に

秋風爽やかな九月十五日（敬老の日）、好天にも恵まれて式典並びに、婦人会による敬老会が、村内の四会場で大盛況に挙行されました。

午後十時受付開始、八十歳以上の方々に敬老年金の支給、十一時より来賓多数の方々をお迎えしての敬老式典では、村長の式辞の後、米寿者七名、九十歳以上九名の方々に記念品の贈呈が行われました。村議会議長、村社協会長、村連婦人会長それぞれの方からご祝辞があり厳粛の内に閉式いたしました。

午後、婦人会による敬老会が行われ多彩な演芸が続出し、ご老人の方々の満悦の様子に改めて、婦人会の方々に感謝し敬服いたしました。米寿者、および九十歳以上の方は、次の通りです（敬称略）

安達ミツル、和氣弥三男、熊野タケ、竹元富士信太郎、徳見ユキエ、松下ヨシエ、中野義光、計七名

新田喜三郎（九〇）、長岡フクヨ（九〇）、稲森リン（九〇）、麓保定（九〇）、久保亀若（九一）、富永オチエ（九二）、新田宗太郎（九三）、栄野カ子ヨ（九七）、佐伯キク（九九）計九名

お、河辺村最高齢者の佐伯キク氏には、数え年百歳を記念して愛媛県と河辺村から記念品があり、村長が住居を訪問し心からお喜び申し上げると共に記念品の贈呈を行いました。

行政相談員に

清水マサ子氏委嘱

去る四月、行政相談員として前婦人会長の清水マサ子氏（65才）が委嘱されました。相談の内容として、生活環境の安全、社会福祉、社会保険、労働、土地問題、道路水路等についておなやみの方、お気軽にご相談ください。

※定例日は偶数月の25日に老人福祉センターで開いています。
※自宅に電話での御相談も結構です。（三九一―二一六六）

納めていますか

国民年金保険料

老後への備えといえは「年金」が大きな支えとなります。国民年金には、65才から受ける「老齢基礎年金」のほか、病気やケガなどで障害者となった時に受ける「障害基礎年金」や、死亡した時に残された遺族が受ける「遺族基礎年金」があります。

ただし、保険料を納めていることが、これらの年金を受ける条件です。

老後の備えはもちろんのこと、万一のためにも保険料は忘れずに納めましょう。

同和教育シリーズ

(29)

「ひとりの人間の生命は、地球より重い。」

日本国憲法では、すべての国民に、生命、自由及び、幸福追求の諸権利を基本的人権として保障しています。

「憲法第十三条、すべて国民は、個人として尊重され、生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利について

は、公共の福祉に反しない限り、立法その他国政上で、最大の尊重を必要とする」

しかし、今なお、同和地区の人たちには、この侵すことのできない永久の権利が侵され基本的人権が十分に保障されていない事実があることをわすれてはなりません。

人権尊重の立場から、村民のすべての人々が「生まれてきてよかった」と、思えるような、生き甲斐のあ

る社会の実現をめざして、学習し実践していくのが同和教育であります。

自分の生命を大切に、自分の幸せを願わない人はいません。しかし、これと同時に他人の生命を軽く見たり、他人の不幸を軽々に見逃すことは又許されな

いことだと思えます。
(河辺村同和教育協議会)

式典で謝辞を述べる老人クラブ会長



健康な暮らし

〇月にはガン制圧月間

〇がん予防の食事

高齢化社会を迎えた現代、成人病がクローズアップされてきました。

がん・心臓病・脳血管障害の三大成人病が総死亡を占める割合は60%を超え、その中でもがんがトップの座を占めています。

昔は、日本人のがんといえは、胃がんとさすほど多かったのですが、胃がんの死亡者は、数のうえで相変わらず多いとはいえ、他のがんととの関係をみますと、全体に占める割合は30年前に比べると約20%も減少しています。

それに比べ、最近、急速に増えてきたのが肺がんで、大腸、膵臓や乳がんが増えています。アメリカでは、胃がんががん全体の死亡者数を占める割合は、約3〜4%と少なく、男性では肺がんが30%以上、女性では乳がんが約20%でそれぞれトップになっています。これは欧米の先進諸国に共通した傾向です。

日本人のがんは次第に欧米

のパターンに近づきつつあるようです。これは欧米化された食生活がこの傾向を招いていると考えられます。

がんの研究が進むにつれてがんをつくる食べもの、食習慣、逆にがんを防ぐ食べもの、食習慣がわかってきました。例えば胃がんは熱いお茶漬けや焦げた焼きもの、くんせい、塩辛い漬けもの、夜食、早食

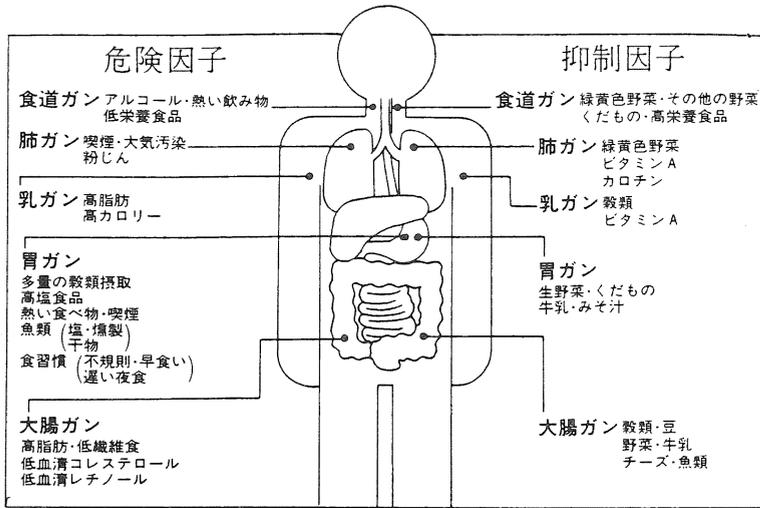
い、アルコールを飲みながらタバコを吸うといった胃に負担がかかる生活を長い年月にわたって続けると発生しやすくなります。

胃がんをさけるにはよくかんでゆっくり食事をし、野菜やくだもの、牛乳などをしっかりとるようにします。

大腸がんは高脂肪、低繊維食と続くと発生しやすくなります。

高脂肪になら

高脂肪になら



短

なつかしき友のぬくもり有難く
まぶたうるみて老いを生きぬく 大西ミツマ

心なごみて石がきにさす
本田ミネヨ

歌

栗の葉の落ちて隣家が近くなり
物干す人の会釈とどきぬ 久保ミヤ子

惑うなくこの過疎地に生きなれて
草を刈りつつ山に親しむ 関井恵美子

花さけばとげをにくみしサボテンも
なつかしき友のぬくもり有難く
まぶたうるみて老いを生きぬく 大西ミツマ

穀物、豆類、野菜類を多くした食生活にします。

〇がん予防のための十二ヶ条

- 1、偏食しないでバランスのとれた栄養をとる。
- 2、同じ食品を繰り返して食べない
- 3、食べすぎを避けて脂肪は控えめに
- 4、深酒をしない
- 5、たばこは少なくする
- 6、適量のビタミンA・C・Eと繊維質のものを多くとる
- 7、塩辛いものは少なめに、熱いものはさましてから
- 8、焦げた部分は避ける
- 9、かびの生えたものに注意する
- 10、過度に日光に当たらない
- 11、適度に運動する
- 12、体を清潔に

消 息

自 63・5・11
至 63・9・10

☆お誕生おめでとう

- 日の平 富永天真 父重則
- 川上 五頭武広 // 秀吉
- 宮谷 松田英明 // 純一
- 中大成 篠原 愛 // 正一
- 神納 佐伯 鮎 // 武文
- 川上 塚野静香 // 靖
- 三久保 稲田良子 // 秀一

☆末ながくお幸せに

井脇龍也(へ脇川町)

渡辺敏恵(へ寺 藪)

- 植松 松本フジ子 67歳
- 上川崎 石井ヨシ子 73歳
- 日の平 船田 末光 80歳
- 神納 松岡イサミ 84歳
- 用の山 竹本スズミ 76歳
- 横山 新田 竹穂 72歳
- 植松 智葉 昌人 59歳
- 長崎 佐伯キミエ 54歳

産業文化祭に みんな参加しよう!

11月11日(金)
12日(土)

展示・催物コーナーなど